

プロポーザル評価表

1. 業務名北陸管内港湾を活用した物流機能強化方策検討業務
2. 所属事務所北陸地方整備局
3. 方式簡易公募型プロポーザル方式
4. 技術提案書の提出要請日又は選定通知日
令和7年5月14日
5. 特定通知日令和7年6月18日

評価項目		評価の着目点				配点	一般財団法人みなと総合研究財団
							評価点
経 験 及 び 能 力 の 予 定 技 術 者	管 理 技 術 者	要 資 格	技 術 者	技術者資格等、その専門分野の内容		8	8.0
		専 門 技 術 力	実 業 績	平成27年4月1日から本業務の公示日までの同種又は類似業務の実績の内容		12	12.0
			成 業 績	令和2年度から令和5年度までに完了した請負業務成績評定点（技術者評定点）の平均点		25	22.5
			表 優 彰 良	令和2年度から令和5年度までに完了した建設コンサルタント等業務に係る優良技術者表彰 令和3年度から令和6年度に受賞した災害対策関係功労者表彰又は災害活動への感謝状 又は 令和3年度から令和6年度に受賞した海外インフラプロジェクト表彰		5	-
	小計（予定技術者）						50
表・その他 の実 施 方 針 ・ 実 施 フ ロ ー ・ 工 程	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。			20	14.7
	実 施 手 順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。			10	8.7	
		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。			10	6.0	
	その他	有益な代替案、重要事項の指摘事項がある場合に優位に評価する。			10	6.0	
	小計（実施方針）						50
特 定 テ ー マ に 関 する 技 術 提 案	全 体	実施方針等を含めた技術提案全体の整合性		実施方針等を含めた技術提案全体の整合性が高い場合に評価し、矛盾がある等整合性がとれていない場合は評価しない。		20	20.0
	特 定 テ ー マ 1	ア ジ ア 情 勢 変 化 に 伴 う 北 陸 管 内 港 湾 と 東 南 ア ジ ア 地 域 間 の 貨 物 需 要 量 の 把 握 に 関 する 留 意 点 に 関 して	的 確 性	北陸管内港湾と東南アジア地域間の貨物需要量を的確に把握するために必要となる、世界情勢の変化により東南アジア地域との貿易がどのように変化していくかに関する情報収集方法や、貨物量推計を行うために使用するデータの選定方法などが具体的に記述されている場合に優位に評価する。		10	10.0
				着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。		10	10.0
		実 現 性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。			10	8.7
			提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。			10	7.3
	特 定 テ ー マ 2	港 太 平 洋 の バ ッ ク ア ッ プ 貨 物 量 の ポ テ ン シ ャ ル 評 価 を 行 う 上 で の 留 意 点 に 関 する 留 意 点 に 関 して	的 確 性	太平洋側大規模災害時における北陸管内港湾のバックアップ貨物量のポテンシャル評価を的確に実施するための前提条件や必要となるデータの選定、北陸管内港湾で受入が可能な貨物量の推計方法などが具体的に記述されている場合に優位に評価する。		10	8.7
				着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。		10	8.7
		実 現 性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。			10	10.0
			提案内容を裏付ける実績などが明示されている場合に優位に評価する。			10	7.3
	小計（特定テーマに対する技術提案）						100
技術評価の配点合計(200点満点)						200	168.6
参 考 見 積	業務コストの妥当性		提示した業務規模と大きくかけ離れている場合には特定しない。			○or ×	○

上記の評価表における業者名は特定業者名以外は匿名。